

森林保護体験プログラム

内装、ベンチ等に間伐材 施工関係者ら20人が伐採

(株)スペース／TX商業施設に活用

クスプレス（TX）八潮駅高架下商業施設「TXアベニュー八潮」（埼玉県八潮市、事業主：首都圏新都市鉄道株）のリニューアルプロジェクト受注にともない企画。同施設の天井装飾やベンチ、サインパネルなどに使用される間伐材をプロジェクト関係者らで採取した。

市鉄道株、株森未来、つくばね森林組合などプロジェクト関係者約20人が参加。はじめにつくばね森林組合で原木のセリなどが行われる材木共販市場を見学した。

当日は同社や首都圏新都

約20人が間伐材の伐採を体験した

入れ、切り倒されると歓声を上げていた。今回伐採された間伐材はベンチに加工され、同施設で使用される。内装材を作り手自ら採取し商業施設が出来るが、プロセスを体験することでプロジェクト関係者間で「つくる責任」を再認識。間伐による森林保護や地産材の使用によるウッドマイレージ削減など環境負荷低減の重要性を学んだ。

商業施設をはじめとした多彩な空間づくりを行う

株スペース（東京都中央区、佐々木靖浩代表取締役社長）は8月29日、石岡市のつくばね森林組合で「森林保護体験プログラム」を開催した。

同プログラムは、今冬オープン予定のつくばエ

